

## 特別支援教育の視点で学校づくりを

校長 加藤 幸一

若葉かおるさわやかな季節となりました。過日、保護者である永井洋平さんに提供いただいた圃場で、晴天の下、田植え体験を行いました。この後、稲の観察、稲刈りや脱穀、そして12月のもちつき集会と学習は進んでいきます。今年もおいしいお餅を食べられるのが今からとても楽しみです。

今週から運動会の特別時間割が始まりました。体育館やグラウンドからは練習する子どもたちの元気な声が聞こえてきます。今年は、コロナが5類へ移行したのを受け、(多少の種目変更はありますが)コロナ禍前の運動会に戻して実施する予定です。来場者の人数制限等もありませんので、地域の皆様にもぜひご来場いただき、子どもたちに温かい声援を送っていただきたいですし、地域や保護者の皆様と楽しいひとときを過ごし、久しぶりに地域が盛り上がりいただければ幸いです。運動会は、6月11日(日)に実施です。雨天の場合は体育館で実施しますが、晴天になることを願っています。

さて、標題にある『特別支援教育』という言葉。保護者の皆様には耳慣れた言葉だと思いますが、地域の皆様はご存じでしょうか? 令和5年4月、特殊教育が特別支援教育へと転換してから17年目を迎えました。平成19年(2007年)に特別支援教育の制度が始まったのです。『特別支援教育』とは、わかりやすく言うと、**学習や生活で困難さ(苦手さ、難しさ等)**を感じている児童に対して、SC(スクールカウンセラー:臨床心理士)や、SSW(スクールソーシャルワーカー:社会福祉士)等の専門家のアドバイスを受けながらその子の特徴に合った支援をすることで、より楽しく学習を行ったり生活を送ったりできるようになることを目指す取組のことです。特殊教育時代は、障害の程度に応じて、盲学校・聾学校・養護学校や特殊学級(特学)といった特別な場で指導を行っていました。特殊学級は現在「特別支援学級」と名称を変え、ほとんどの学校に設置されています。本校にも特別支援学級はあります。

私が教員になった平成2年(1990年)当時は、特殊学校(盲・聾・養護学校の総称。現在「特別支援学校」という名称に)や特殊学級の子どもの割合はかなり少なく、特殊学級未設置の小・中学校が一般的でした。それが現在は、通常の学級に発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする子ども(小・中学校在籍者)が8.8%(2022年の文科省による調査結果)もいるということが分かっています。これは、35人学級であれば1クラスに3人の割合にいるということになります。これに、特別支援学級に在籍している子どもや、通級による指導を受けているものを含めると、約15%にまで増加します。単純比較しても、昔と比べて(1987年の調査結果では特別な教育的支援が必要な児童生徒の割合は0.9%でした)、対象は約1.5倍にも拡大したことになります。

では、**困難さや困り感**とは、具体的にどういったものなのでしょう。発達障害、自閉症スペクトラム、LD・ADHDといった言葉を聞いたことがあると思います。でも、これは医学用語(診断名)や専門用語であって、実際すべての学校には以下のような状況で困っている子どもがたくさん存在しています。

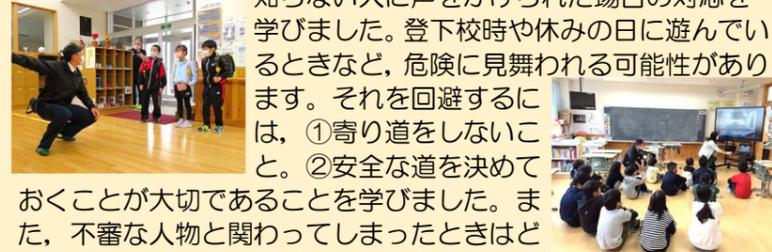
- 計算はできるけど文章問題になると難しいよ。
- 漢字をノートいっぱい練習したのに覚えられないよ。
- 黒板を写すのが遅いの。視力は悪くないのに、なんだか字が二重に見えるの…
- 気になることがあると、じっとしてられないんだ。ずっと座っているのが辛いんだ。
- 音読が苦手。文字がゆらいで見えるの。どこまで読んだっけ?
- 整理整頓が苦手。忘れ物や無くし物をしてしまうんだ。
- ちょっとしたことで、怒ったり、ふてくされたりしてしまうんだよな。
- 集中して聞くことや一つのことを最後までやりとげることが難しいんだよ。言われたこともすぐに忘れちゃうんだ。



どうですか? 大人の皆さんでも思い当たることはありませんか? 人間にはいろいろな学習スタイルがあります。認知の仕方でも視覚優位の人いれば聴覚優位の人、運動型の人もいて、それは発達障害の有無に関係はありません。ですから、環境を整え、個々の認知や学習スタイルに応じた指導を徹底させることで上記のような困り感を抱えた子どもの支援に十分対応ができますし、そうすることがすべての子どもにとってメリットがあることです。本校では、児童の困り感や不適応に寄り添っていくよう、特別支援教育の充実を図ってまいります。

## ●●防犯教室(5月9日)●●

5月9日(火)講師に金山駐在所の森竹さんをお招きして防犯教室を実施しました。まず、DVD資料(不審者対応)を視聴し、知らない人に声をかけられた場合の対応を学びました。登下校時や休みの日に遊んでいるときなど、危険に見舞われる可能性があります。それを回避するには、①寄り道をしないこと。②安全な道を決めておくことが大切であることを学びました。また、不審な人物と関わってしまったときはどうすればよいか、ということも学びました。最後に、子ども達と改めて合言葉の「いかのおすし」を確認しました。引き続き、地域の皆様、子ども達の安心、安全な暮らしを守るため、見守りのご協力よろしくお祈いします。



## ●●避難訓練(5月10日)●●

5月10日(水)5時間目、家庭科室から出火したことを想定して、避難訓練を行いました。また、訓練後、校庭で煙体験を行いました。最近では毎日のように火事のニュースを見ることがあります。設備の不備や不審火など原因は様々ですが、大切なことは火事を起こさないこと、そして、もしものときにすばやく安全に避難できることです。いつでも意識するよう指導していきます。



## ●●なかよし集会(5月17日)●●

5月17日(水)5時間目、体育館でなかよし集会を行いました。なかよし集会は、学校での問題行動について子ども達と一緒に考えることをねらいとしています。思いの伝え方、公正・公平、優しさに焦点を当て、グループで考え、意見を出し合いました。みんなで生活するときに大事なことを確認しました。最後に、「西小いじめ追放宣言」を児童会長が宣言しました。



## ●●田植え体験(5月25日)●●

5月25日(木)2~3時間目、低温のために延期した田植え体験活動を実施しました。今年も永井洋平さんの水田をお借りしました。雲一つない青空の下、気温は暖かく、水田や用水路の水はまだ冷たいといった状況の中で、田植えを楽しみました。これからの稲の成長が楽しみです。12月にはもちつき集会で味わうことを楽しみに、全員で稲の成長を見守ります。



## 6月行事予定

日	曜日	学校行事
1	木	食育指導, 全校朝会, 安全点検
3	土	PTA 廃品回収, 環境整備作業
4	日	ノーゲームデー
5	月	振替休業日(6月11日分)
6	火	本部町交流事前研修①
8	木	運動会総練習
10	土	運動会前日準備
11	日	運動会
12	月	振替休業日(6月11日分)
13	火	上教研第2ブロック班研修
15	木	集合学習① 本部町交流事前研修②
16	金	プール清掃
18	日	ノーゲームデー
19	月	新体力テスト 歯科検診 教育相談週間(~23日)
20	火	内科検診(3・4年)尿検査配付(2次)読み聞かせ
21	火	研修日 尿検査回収(2次)
22	木	本部町事前研③ 結団式 カヌー体験
23	金	クラブ③ 第2回PTA会議 カヌー体験(予備日)
26	月	本部町交流事業(~6月30日) 給食費納入日
28	水	職員会議
30	木	児童会

## ●運動会について(お願い)●

6月11日(日)午前9時より、本校グラウンドにおいて南富良野西小学校第8回大運動会を実施いたします。本年度の運動会は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、**来場制限を撤廃いたします。また、マスク等の感染症対策は、来場された皆様のご判断とさせていただきます。**金山地区・下金山地区の皆様方にぜひご参加いただきますよう、よろしくお祈いいたします。

※気温が高まる可能性がありますので、ご来場の際は熱中症の対策(飲み物、帽子や日傘、塩分等)をお願いいたします。